

平成21年度校内研修計画

雲部小学校研究推進

1 研究テーマ

『自分の言葉でふるさとのよさを伝え合える子の育成』

～自ら学び、自ら課題を解決できる子どもをめざして～

2 テーマ設定の理由

本校は、周囲を里山や田畑に囲まれ、貴重な動植物がたくさん現存している自然に恵まれた環境にある。その環境を生かし、「生き生き農作業体験」で地域の方々の協力の下、全校で米作り体験をしたり、3年生児童が黒豆を栽培し収穫した黒豆で料理を作ったりしている。昨年度は、学校周辺の自然を題材にして生活科や総合的な学習に取り組み、2月には、くもべ環境フォーラムを開催し、地域の方に学習の成果を発表した。その中で、自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えたり説明したりする力や、学校外の方と接する際のコミュニケーション力を育ててきた。

しかし、昨年度の学校評価から、

- ① 普段の学習の中ではその表現力が十分に発揮できていないのではないか
- ② 臨機応変に物事に対処する力が不足している
- ③ 自分で課題を見つけ、解決していく力が不足している

などの課題が出てきた。これは、生きる力そのものであり、本校の教育目標「よく考える子」「思いやりのある子」「たくましい子」の3つとつながるものである。この3つの課題を解決することは、本校の目指す方向であり、生きる力を育むことに通じる。

本年度、城東地区では教育課程研究開発校指定事業推進の指定を受け、来年度の統合を見据えて、研究に取り組むことになった。今年度が最後となる雲部小学校であるが、残りの一年間で、雲部を愛しいつまでも大切に思う心を育てるために、雲部の豊かな自然環境に歴史文化産業を加えたふるさとに視点を当てて、生活科や総合的な学習を中心にして、教科等と関連づけながら学習に取り組み、昨年度からの課題である3つの力をつけていくことにした。そこで、本校の教育目標「輝け！雲部っ子～ふるさとに学び、心豊かでたくましく生きる雲部っ子の育成～」を受けて、本年度の研修テーマを

『自分の言葉でふるさとのよさを伝え合える子の育成』

～自ら学び、自ら課題を解決できる子どもをめざして～

と決定し、以下の研修内容並びに方法によって取り組んでいくことにした。

